

総合調整会議（2017. 6. 8）

○日時：平成29年6月8日（木） 午前8時50分～午前10時05分

○場所：栗東市役所3階談話室

○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

<会議内容>

1. 市長の指示事項

市長からの指示

- ・農振農用地区域の開発の件について、自治会長と面会してきたが、地域の見解はいろいろあるようである。議会に提出された請願書は継続審査となっていることから、まちにとってのプラス面、マイナス面等を調査しながら進ませてもらうと申し上げてきた。トップセールスの名目で、出展希望者の本社や担当者との会い、説明を聞いた上で整理したい。
- ・6月議会が始まるが、途中で資料の差し替えが無いよう、議案上程までに数字等を再度確認すること。
- ・事件や事故の対応にあっては、報告・連絡・相談を迅速に行うこと。
- ・山間地からの通学手段の件については、内部で協議検討を行うこと。

2. 審議事項

【案件名】平成30年度 国・県予算ならびに施策に対する要望について（再議）

→ 市民政策部政策監、元気創造政策課長から説明

- ・5月17日開催の総合調整会議において再議となった内容について、各要望項目の追加・修正等を行った内容を審議するものである。

区分：決定

3. 報告事項

【案件名】龍谷大学との連携協力による包括協定の締結について

→ 市民政策部政策監、元気創造政策課長から説明

- ・近年多様化する行政課題の解決にあたり、大学をはじめとする多様な主体との協働・連携によるまちづくりが欠かせないことから、第五次栗東市総合計画後期基本計画および第七次栗東市

行政改革大綱において掲げている大学連携への取り組みとして、今般、龍谷大学と包括協定を締結することとなった。

区分：了解

【案件名】自治体情報システム強靱性向上事業の進捗等について

→ 総務部長から説明

- ・総務省の指示により実施してきた自治体情報システム強靱性向上事業の進捗状況および業務への影響について報告するものである。

区分：了解

【案件名】小規模保育事業及び家庭的保育事業設置・運営事業者の募集について

→ 子ども・健康部長から説明

- ・平成29年4月当初における待機児童数は53人で、特に3号認定の0～2歳児で多くなっていることから、保育需要に対応するため、新規に小規模保育事業および家庭的保育事業の設置・運営事業者を各1者募集するものである。

区分：了解

【案件名】し尿および浄化槽汚泥の収集体制について

→ 環境経済部長から説明

- ・現在、湖南4市のし尿および浄化槽汚泥は湖南広域行政組合で共同処理しているが、その収集運搬については、守山市と野洲市が先行する形で実質的な権能を保有している。今後、構成4市がそれぞれの実態に応じた運用が図れるよう、平成31年4月から、収集運搬の権能が4市に返還される方針が、去る平成29年2月の管理者会において決定されたことから、権能返還に向けた手続きを進めるものである。
- ・本市においては、現在の湖南広域行政組合が収集運搬業者へ委託している収集体制から、本市が業者へ委託する体制へ移行することとなる。
- ・今後のスケジュールは、6月議会で報告し、9月議会で「湖南広域行政組合規約の改正に関する

る協議につき議決を求める議案」を提出する。平成30年9月議会では、手数料条例の一部改正等に関する議案を提出する予定であり、来年度にかけて協議を行う。

- ・し尿および浄化槽汚泥の処理については、権能返還後も引き続き、湖南広域行政組合で共同処理する。

区分：了解

【案件名】安養寺団地漏水事故の損害賠償について

→ 建設部長、住宅課長から説明

- ・平成29年5月17日に安養寺団地E棟で発生した給水管漏水事故に伴う階下入居者への損害賠償に関する対応について、先に決定した対応方針に基づき被害者との協議を実施してきたので、その結果を報告するものである。

区分：了解

【案件名】市内中学生並びに児童生徒数の将来推移及び必要教室推定数について

→ 教育部長、教育総務課長から説明

- ・市内中学校および小学校における児童・生徒数の将来推移と必要教室推定を、平成29年5月1日現在でまとめた教育委員会作成の調査報告と国立社会保障・人口問題研究所がまとめた日本の地域別将来推計人口を基礎として算出したので報告するものである。

区分：了解

4. 閉会

副市長からの挨拶

- ・6月議会では、それぞれの立場でしっかり対応すること。
- ・国、県に対する要望活動を行うにあたり、県等の各部署と十分に連絡や打合せを行うこと。また、議会への説明について十分対応を図ること。

以上